

# 『平成27年度 街なか再生助成金』

## 助成事業の報告

本助成金の募集につきましては、今年の2月1日から3月31日までの2ヶ月間行ったところ、全国より11件の応募をいただきました。

応募頂いた全ての事業を確認し、選考委員会による厳正なる審査を行った結果、以下の3事業に対して助成を行うことに決定致しました。

### ■ 平成27年度助成事業一覧

事業名	団体名	実施場所
歴史的建造物を中心とした「まちルネッサンス」事業	東新会まちづくり協力隊	広島県庄原市
湊町三丁目C街区開発協議会事業	協同組合 銀天街ショッピングビル	愛媛県松山市
白潟本町まちづくり協議会活動事業	白潟本町 まちづくり協議会	島根県松江市

<b>事業名称</b>	歴史的建造物を中心とした「まちルネッサンス」事業
<b>団体名</b>	東新会まちづくり協力隊
<b>実施場所</b>	広島県 庄原市

**事業概要:**

市内に存する歴史的建造物である近代建築物を街の魅力として評価し、それら建造物の保存・再生・活用策の検討やそれらを含めた町の景観保全のため、以下の事業を実施した。

**実施報告:**

①ワークショップの開催

- 地域住民・関係自治体と連携して街並みの歴史、景観の維持保全と歴史的建築物の保存・再生・活用を促す手法、手段を検討するため下記活動を実施した。
- ・地域住民とのワークショップ（4回開催）
- ・奈良女子大・建築士等とのワークショップ（H27.8.2 参加者18名）
- ・行政、まちづくり団体、地域住民、活動サポーター等とのワークショップ（H28.8.30 参加者60名）
- ・庄原市と地域住民による街並みづくりワークショップに参加（4回開催）

②歴史的建造物を活かし街なかのシンボルとして創出

- ・旧自治寮を地域のシンボルと位置付けるため、大学教授、建築士、ヘリテージマネージャー等と協力し、ヤマモトロックマシン建物群8棟を「国の登録有形文化財」として登録（H28.2.25）
- ・建物活用・保存修復案の検討（資料収集、活用方針提案、耐震診断、ワークショップ開催等）
- ・専門家、芸術家の参画する建物公開イベントを実施（2回開催 参加者約500名）

③「街並みづくりのガイドライン」の作成に関する活動

- ・庄原市が進めている街並みづくりワークショップと連携し、街並みづくりのガイドラインづくり（2016年度完成予定）



↑ 建築士、ヘリテージマネージャー  
との建物調査の様子



↑ 庄原市と地域住民との  
街並みづくりワークショップの様子

**実施成果:**

- ・県外のまちづくりに取組んでいる学識者及びまちづくり団体が本取組みに興味を持ち、地域住民と外部のまちづくり団体等で、世代・地域間交流ワークショップ等を開催することができた。
- ・想定していた時期より早く、対象建物を国登録有形文化財として登録を受けることができた。
- ・庄原市による「魅力ある街並みづくりワークショップ」がH27・28年度の2カ年事業として立ち上がり、ワークショップの構成内容、構成メンバー等について大きく関与することができた。

<b>事業名称</b>	湊町三丁目C街区開発協議会事業
<b>団体名</b>	協同組合銀天街ショッピングビル
<b>実施場所</b>	愛媛県 松山市

**事業概要:**

中心市街地活性化計画区域内の再開発事業化検討地区のうち、特に防災上・耐震上、緊急性を求められる街区において、先行的・先導的に進められる再開発事業化検討を行うため、以下の事業を実施した。

①湊町三丁目C街区開発協議会の設立及び運営管理

- H27.9.16 湊町三丁目C街区開発協議会設立総会開催
- H27.10.13～14 佐世保市・熊本市、市街地再開発事業先進事例視察（8名参加）
- H27.10～11 地権者説明会（3回開催）
- H27.10～12 地権者戸別訪問
- H28.1.9 賀詞交歓会
- H28.1～2 地権者戸別訪問
- H28.3.15 地権者報告会

②専門事業者によるコーディネート・プランニング

- 再開発事業に向けたコーディネート及びプランニング実施
  - ・地権者説明会3回実施（10/26・11/10・11/24）
  - ・地権者報告会実施（3/15）

③先進地視察

- 訪問先：佐世保市 栄・常盤地区再開発組合、佐世保市役所  
熊本市 上通A地区市街地再開発事業、熊本市役所、駐車場事業者

→  
湊町三丁目C街区  
開発協議会  
設立総会  
開催案内



↑ 地権者説明会の様子

**実施成果:**

- ・再開発構想の企画立案に際し、地権者向け説明資料を作成して事業性について検討した。また本企画案を説明し、各地権者の現在の状況の確認、開発時の権利変換・補償等についての考え方等を確認することができた。
- ・当該地区地権者32名のうち、31名の参加承諾を得て、協議会活動を推進した。説明会・戸別訪問・賀詞交歓会・報告会・その他各種会合等を通じて、C街区での再開発事業推進に向けた理解と協力を得ることができた。

<b>事業名称</b>	白潟本町まちづくり協議会活動事業
<b>団体名</b>	白潟本町まちづくり協議会
<b>事施場所</b>	島根県 松江市

**事業概要:**

中心市街地における狭隘で細長い土地の区画整理改善や老朽建物の建て替え・補修を行い、良好なまちなみ形成を図るために、その事業手法を検討し、また関係者のまちづくりの参画意識向上のため、以下の事業を実施した。

**実施報告:**

① 講演会・勉強会の開催

- H27.8.7 第1回まちづくり勉強会
- H27.10.2 まちづくり講演会
- H28.1.16 第2回まちづくり勉強会
- H28.3.29 第3回まちづくり勉強会

② 近隣市への視察

- ・空き店舗の改修・活用等を進め、賑わい創出を目指して活動を行っている事例地へ出向き、直接お話を聞くことにより、白潟本町のまちづくりのヒントを得るため、視察を実施した  
視察先：鳥取県倉吉市（講演及び白壁土蔵群周辺街並み視察）

③ 広報誌の発行

- ・白潟本町まちづくり協議会で実施する事業の活動をまとめた情報誌「白潟本町まちづくり協議会通信」を都度発行し、関係者に配布した。



↑まちづくり講演会の様子



↑視察地(鳥取県倉吉市)での講演の様子

**実施成果:**

- ・まちを取り巻く現状の認識を合わせ、具体的な想定事例を基にしたケーススタディを実施したことにより、最優先で決めるべき問題の共有化を図ることができた。
- ・長期未着手都市計画道路の取扱い問題について、解決に向けた動きに移行させることができた。